



佐藤さんの小かぶ・キャベツ



いつも笑顔で元気な佐藤さん。昔は体操選手で、今はゴルフが大好きなスポーツマンです。



葉っぱも実も美味しい小かぶ。バランスの良い土作りが出来ているので、元気に育っています。



12月上旬までは、真冬の堅めなキャベツに比べて、身が柔らかめな品種をあえて作っています。

★今年も元気に美味しく育っています

今年には台風や長雨などの影響で、一般的には野菜の品不足が続いています。しかし、ベテランの佐藤さんの小かぶとキャベツは例年通り順調に育っています。更に今年は面積を増やしたり、新しい防虫ネットも購入して、より手間をかけて育ててきました。「今年には台風や色々あったけど、かぶもキャベツも良く持ったよ。ネットのおかげで台風にも苗がやられなかったしな。9月の長雨にも負けず良くもったと思うよ」

そんな佐藤さんの基本は、連作を避けるために年1作、畑は3町歩ちょっとありますが、そのうち1町歩は休ませています。作付けをする度に太陽熱消毒を行い、さらに長年、1~2年寝かせた完熟堆肥を入れてきたので土は出来上がっていると言います。「最近土が出来ているから、堆肥をあまり入れてもどうかと思っているんだよ。だから堆肥は軽く振って牧草やマメ科の緑肥をすき込むぐらいで丁度良い感じなんだよな。何でもバランスだよ」

例えば、かぶは肥料が足りないと固くて美味しくなく、かといって窒素が多いと肩のところが太くなり固くて美味しくないと言います。「何でもバランス良く、だよな」

今年には例年以上に注文が多いのですが、元気満点の佐藤さんは「大したことはないよ」と、12月の出荷や春キャベツのことも考えながら今日も畑をとびまわっています。長年の経験に基づいた目と技術、そして手間をかけて、今年も美味しい小かぶとキャベツが出来ましたよ。

・小かぶ、キャベツはメンバーの持ち回りで出荷していきます。

【産地情報】

◎世間相場が高いためか、注引量が非常に多い状態が続いています。小かぶ・キャベツとも次の作に移る12月上旬に切れないよう、必要に応じて随時注引量を制限させて頂くこともあるかもしれません。